

平成30年10月17日(水) 12:00~
県営大宮球場

第8回関東選手権大会
準決勝

VS

東芝

初回、先発の三宮はヒットと四球で2死1、2塁のピンチを作ると、センター前にタイムリーヒットを打たれ先制を許す。しかしその後の1、3塁のピンチは内野ゴロに打ち取って最少失点で切り抜ける。

先発の三宮は2回・3回は三者凡退に退けたものの、4回から6回まで毎回得点圏に走者を背負う苦しいピッチング。しかしあと一本を許さず無失点で切り抜けていく。三宮は7回まで投げて1失点でマウンドを譲る。

8回からは2番手として上田が登板、その8回に犠牲フライで1点を失うものの、9回は三者凡退として試合終了、4-2で勝利し決勝進出を果たした！

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
東 芝	安打	2	0	0	0	0	2	0	2	0	6
	得点	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
明 治 安 田 生 命	得点	1	0	1	0	2	0	0	0	X	4
	安打	1	1	2	0	3	1	2	0		10

先制された直後の初回の攻撃、2死から3番・宮川が相手エラーで出塁し盗塁を決めて2死2塁とすると、4番・大野がレフト前にタイムリーヒットを打ちすぐ同点に追いつく！

3回、2番・大東のヒット、3番・宮川の四球などで2死1、3塁とチャンスを作ると、5番・道端がセンターへ勝ち越しのタイムリーヒット！2-1と逆転する！

突き放したい打線は5回、2死走者なしから4番・大野の内野安打、5番・道端の四球でチャンスメイク。ここで6番・佐藤、7番・竹内に連続タイムリーヒットが生まれ2点を追加、4-1と点差を広げる！

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打				打点	盗塁	犠打	四死	打率
						計	単	二塁	三塁					
1	4	新城	新宿支社	3	3	0								0.000
	H	井村	新宿支社	1	1	0								0.000
	4	島田	八王子支社	1	1	0								0.000
2	5	大東	浦和支社	5	4	1	1					1	0.250	
3	8	宮川	上野支社	5	4	1	1			1		1	0.250	
4	3	大野	池袋支社	4	4	2	2			1			0.500	
	DH	道端	丸の内支社	4	3	2	2			1		1	0.667	
5	R→DH	手銭	総合法人第三部	0	0	0							#DIV/0!	
6	7	佐藤	所沢支社	4	4	2	2			1			0.500	
7	9	竹内	町田支社	4	3	1	1			1		1	0.333	
8	6	吉田	総合法人第五部	4	4	1		1					0.250	
9	2	尾嶋	広域組織法人部	4	4	0							0.000	
計				39	35	10	9	1	0	0	4	1	0	0.286

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	三宮	横浜支社	○	7	28	125	4	6	4	1	1	1.29
2番手	上田	東京マーケット開発部		2	8	31	2	3	0	1	1	4.50
計				9	36	・	6	9	4	2	2	2.00